

令和8年度 資産系システムソフトウェアライセンス等購入

No.	項目名等	質問内容	回答内容
1		HULFT10の保守サポートについて確認いたします。 当該製品の保守サポートは、メーカー提供条件上、原則として1年単位での更新契約となっており、提示可能なサポート見積期間は最長5年となります。 一方、仕様書には保守期間として「令和8年11月1日から令和14年10月31日まで」と、6年間の保守期間が記載されております。 また、複数年一括契約を行う場合には、通常の年次更新契約とはサポートレベル等の契約条件が異なる場合があります。 ※「製品サポートライフサイクル：HULFT」に同意頂く事が前提になります。 本件においては、保守サポートを契約期間（令和8年11月1日～令和14年10月31日）分をまとめて契約する想定でしょうか。 上記ご確認の上、ご教示ください。	保守サポートを契約期間（令和8年11月1日～令和14年10月31日）分をまとめて契約します。 製品サポートライフサイクルには同意しているため、複数年一括契約でお願いします。
2		Oracleライセンスの正式御見積にあたり確認させてください。 Oracleライセンスは、仮想環境で利用する場合であっても、ライセンス算定上は物理サーバを基準として課金されます。 つきましては、各仮想環境に対応する物理サーバについて、以下の情報をご教示ください。 ・各仮想環境ごとの物理サーバ数： ・利用OS：仕様書記載済み ・物理プロセッサの最大搭載可能数： ・物理プロセッサの搭載数： ・物理プロセッサ1枚当たりのチップの数： ※ご使用のプロセッサがマルチチップモジュール（MCM）の場合、物理プロセッサ数ではなく、プロセッサ上のチップ数がライセンス算定上のプロセッサ数として扱われます。	サーバスペックに応じた数量は確認済みのため、仕様書に記載の数量を購入となります。 なお、仕様書記載のとおり本案件で購入するライセンスはクラウド環境の仮想サーバでの利用となります。
3		本件のお支払い方法について確認させてください。 契約期間分の費用については、納入後に一括でお支払いいただく想定でしょうか。 ご教示のほどよろしくお願いいたします。	請求書を受領後、本契約分をまとめてお支払いします。